

令和5年度 認知症施策取組状況

(令和6年1月31日現在)

1. 認知症サポーター養成講座の開催

認知症に対する理解を深め、地域で見守る支援者の増加を目的に講座を開催し認知症サポーターの養成を行う。

伊勢市 認知症サポーター数	12,527人
---------------	---------

《令和5年度》54回講座開催、1,195人養成

◎各年度における目標数	【令和3年度】 10,800人	【令和4年度】 11,400人	【令和5年度】 12,000人
-------------	--------------------	--------------------	--------------------



2. 認知症サポーター活動促進事業の取組

認知症サポーターステップアップ講座を開催し、サポーターの継続学習の場を提供するとともに、認知症の人や家族のニーズとのマッチング等を行い、サポーターの自主活動を促進し『チームオレンジ』を育成。

(1) 認知症サポーターステップアップ講座

開催回数		参加者数 (実人数)	
7回	全市型： 6回	58 (26) 人	全市型：51(19)人
	地域型： 1回		地域型： 7(7)人



○地域型：げんこカフェ、コミュニティカフェこのほで開催予定

(2) チームオレンジ

認知症サポーターがステップアップ講座を受講してチームメンバーとなり、チームを組んで認知症の人や家族を支援する仕組である。認知症の人と家族、地域サポーター、多職種の職域サポーターなどがそれぞれに役割を持ち、身近な場所で、早期から継続活動を行う。

チームオレンジ (今年度新規再掲)	拠点	サポーター数
	9か所 (0)	67人 (0)

令和5年度新規：0か所 (令和5年度結成予定であった2か所は、令和6年度に結成予定)

3. 認知症初期集中支援事業

認知症が疑われる人、認知症の人や家族へ早期に対応し、専門機関への受診勧奨や重症化の予防を目的に、認知症専門医と保健福祉の専門職による「認知症初期集中支援チーム」が支援体制の構築と個別支援を行う。

会議開催回数	支援件数 (実件数)
3回	5件 (3件)
定期：3回 緊急：0回	

定期：【第1回】6月15日【第2回】9月14日【第3回】12月14日【第4回】令和6年3月21日予定

4. 認知症にやさしいまちづくり

(1) 認知症にやさしい図書館

① 認知症に関するおすすめ本～認知症本の処方箋～(Vol.1-12) 【新規】Vol.11・12

認知症の人や家族、支える地域の方々が本を通じ、認知症に関する知識を学べるよう、市図書館や市役所、地域包括支援センターでの設置や啓発講座等で配布している。

② 認知症に関する本の常設展示及びアルツハイマー-月間に合わせた特設展示 (令和5年9月9日～24日開催)

伊勢図書館・小俣図書館では、認知症に関する本の特設コーナーを設置している。また両図書館にて、アルツハイマー-月間に特設展示コーナーを設置し、認知症に関する啓発を行った。

(2) 高齢者や認知症にやさしい応援団「こども作文コンクール」

小学生を対象に、「高齢者や認知症の人との関わり」からの学びを作文にすることで、「高齢者」や「認知症の人」への理解を深め、優しさや思いやりを育む機会となるよう、「高齢者や認知症にやさしい応援団『こども作文コンクール』」を実施した。

○応募数：35人（9小学校）

優秀作品7点について、脳卒中・認知症市民公開講座で表彰（令和5年11月23日）

(3) 認知症カフェ

認知症の人や家族などが気軽に集い、経験や思いの共有、情報交換などにより認知症への理解を深めるとともに、保健師や認知症地域支援推進員が相談などの支援を行う。また、家族会やNPO法人が開催している認知症カフェと連携を図っている。

市が実施主体	実施箇所数
福祉総合支援センター	1か所
認知症地域支援推進員（地域包括支援センター）	2か所

【市以外の認知症カフェ】 NPO法人主催：3か所 家族の会主催：1か所

(4) スローショッピング事業

認知症の人が自分のペースでゆっくり安心して買い物を楽しむ取組み。社会参加につながるるとともに認知症への理解を促進する活動。

【第1回】令和5年7月27日（木） ウエルシア伊勢宮町店 参加：6人（3組）

【第2回】令和5年9月28日（木） 外宮参道 参加：8人（4組）

【第3回】令和5年12月1日（金） イオンタウン伊勢ラパーク 参加：6人（3組）

【第4回】令和6年3月の予定 調整中

5. 高齢者の見守り支援等に関する協定の締結

市と民間事業者とが連携し、高齢者等の見守りを行うことにより、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活することができる地域づくりを推進する。

「高齢者に優しい取組に関する協定締結」機関数	36機関
------------------------	------

《令和5年度新規：7機関》

佐川急便株式会社、日本生命保険相互会社 津支社、株式会社あいネット伊勢支社、株式会社スズケン 伊勢支店、伊勢米穀企業組合、宅配クック123伊勢・玉城明和店、スギ薬局

6. 認知症SOSネットワーク事業

行方不明になるおそれのある認知症高齢者等の日頃からの見守りと、早期発見・保護を目的に事前登録制度を実施し、地域や関係機関のネットワークの構築を行う。

(1) 認知症SOSネットワーク「いせ見守りてらす」 協力機関

協力機関数	支店・店舗数	協力機関シール・マグネット配布数
45機関	144店	シール385枚・マグネット659個



《令和5年度新規：7機関》

佐川急便株式会社、日本生命保険相互株式会社 津支社、マックスバリュ(株)ラパーク店、株式会社あいネット 伊勢支社、伊勢米穀企業組合、宅配クック123 伊勢・玉城明和店、スギ薬局

(2) 認知症SOSネットワーク「いせ見守りてらす」 登録者数

実登録者数	性別	平均年齢	備考
86人	男 32人 女 54人	83.6歳	最低年齢 66歳 最高年齢 94歳

延べ登録者数 236人（取下げ153人）

《令和5年度新規：17人》

7. 認知症SOS家族支援サービス事業

認知症高齢者等が行方不明になった場合に位置情報提供システム（GPS端末器）を活用し高齢者の位置を特定することにより、早期発見および行方不明時の事故防止とともに、介護家族の負担軽減を図る。

利用者数	1件
------	----

《令和5年度新規：1人》

8. 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

認知症高齢者等が、日常生活の中での偶然な事故により法律上の損害賠償責任を負う場合に備え、市が保険会社実施の個人賠償責任保険に加入し、その保険料を負担する。

被保険者数	39人	※延べ被保険者数：43人
-------	-----	--------------

9. 認知症にやさしいまちづくり分科会

認知症になっても、認知症の人と家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症への理解の促進や認知症の人や家族の支援への効果的な施策の推進を目的に、認知症にやさしいまちづくり分科会を設置。

【第4回】9月28日 【第5回】令和6年2月15日（予定）

10. 認知症地域支援推進事業

地域包括支援センター6か所に「認知症地域支援推進員」を配置。

認知症の人が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症の状態に応じ、すべての期間を通じて、必要な医療や介護、生活支援サービスが連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援を行う体制を構築するとともに、認知症ケアの向上を図り、地域の実情に応じた取組みを総合的に実施。

《具体的な内容》

認知症に対する理解促進
認知症に関する相談支援、認知症への早期対応の取組み、
認知症の人や家族に対する支援、若年性認知症に係る支援、専門機関や認知症専門医等との連携、その他の地域の実情に応じた取組み 等

○認知症地域支援推進事業担当者会議（年3回）

【第1回】5月19日 【第2回】10月20日 【第3回】令和6年2月16日予定

○認知症地域支援推進員連絡会 【未定】